

## 奈良県における外来種クロガケジグモの分布 —2013年と2023年の比較—

関根幹夫

Distribution of an exotic spider *Badumna insignis* (Araneae: Desidae) in Nara Prefecture,  
in 2013 and 2023

Mikio Sekine

The occurrence of an exotic spider *Badumna insignis*, or Black House Spider in Nara Prefecture, where the species was first found in 1977, was surveyed in 2013 and 2023. The species was found in 12 cities, 15 towns, and 2 villages in Nara Prefecture in 2013. In 2023, 4 villages, i.e., Yamazoe Village, Higashiyoshino Village, Shimokitayama Village, and Totsukawa Village, made an addition to habitat. Contrarily, the species was not found in Soni Village, Mitsue Village, Kurotaki Village, Tenkawa Village, Kamikitayama Village, and Nosegawa Village in 2023. Figure 1 is a diagram showing the distribution of *B. insignis* in Nara Prefecture. The species perhaps dispersed from the northwestern areas southward. On the other hand, the spiders may have just been carried by vehicles as was pointed out.

### はじめに

クロガケジグモ *Badumna insignis* (L. Koch 1872) (クモ目ウシオグモ科) は、オーストラリアからの帰化種で、1963年に大阪府で最初に発見され(八木沼 1974)、1977年には奈良県斑鳩(いかるが)町で生息が確認された(関根 2014)。1990年の分布範囲は、大阪府・和歌山県・奈良県であったが(八木沼他 1990)、本種の分布は近畿地方から日本各地に拡大している(新海他 2022)。奈良県における2013年5月から9月の調査で、本種は県北西部から五條・北部吉野と県北東部まで広く分布することが確認された(関根 2014)。この調査から10年後の2023年6月から7月に調査を行った。その結果、現時点での生息範囲の概略を把握できたので、ここに報告する。

### 方法

2013年調査で生息が確認されなかった山間部の村で、2023年6月24日から7月23日、主要国道・県道沿いを中心に、橋の欄干・道路柵・ガードレール・金網フェンスなどの人工物を目視で確認し「ボロ網」の有無を調べ、クモを確認した。本種の「ボロ網」は、他科のクモの網とは容易に区別できる。

### 結果

県北東部の山添村、南東部の東吉野村、下北山村と南西部の十津川村での生息が新

たに確認された。よって、2013年調査と合わせて、奈良県下の12市15町6村で本種の生息が確認されたことになる。調査結果を図1に示す。なお、県南東部の曾爾村、御杖村、黒滝村、天川村、上北山村と南西部の野迫川村では生息を確認できなかった。

データは市町村名：地点名、緯度経度、標高、調査日（YY.MM.DD）の順に記した。

#### 奈良県北東部

山添村：片平・片平大橋（欄干のフェンス），34°40'13.39" N, 136°04'11.74" E, 229 m, 2023.6.24

吉田・吉田公民館付近（道路柵），34°40'48.17" E, 136°04'20.63" E, 283 m, 2023.6.24

#### 奈良県南東部

曾爾村：生息を確認できなかった，2023.7.8

御杖村：生息を確認できなかった，2023.7.8

黒滝村：生息を確認できなかった，2023.7.15

天川村：生息を確認できなかった，2023.7.15

東吉野村：小川・東吉野村役場前出合橋（欄干），34°24'10.49" N, 135°58'09.82" E, 256 m, 2023.7.10

小・丹生川上神社中社前（道路柵），34°23'24.01" N, 135°59'09.74" E, 273 m, 2023.7.10

上北山村：生息を確認できなかった，2023.7.22

下北山村：上池原・池原橋西詰近く（道路柵），34°02'29.68" N, 135°57'29.25" E, 225 m, 2023.7.22

上池原・下北山スポーツ公園（テニスコートの金網フェンス），34°02'50.78" N, 135°57'47.01" E, 214m, 2023.7.22

#### 奈良県南西部

野迫川村：生息を確認できなかった，2023.7.17

十津川村：上野地・奈良県五條土木事務所工務第二課（金網フェンス），34°05'57.99" N, 135°45'37.23" E, 331 m, 2023.7.23

風屋・NTT 西日本風屋別館（金網フェンス），34°05'57.99" N, 135°45'37.23" E, 252 m, 2023.7.23

平谷・庵之前橋東詰近く（道路柵），33°56'20.04" N, 135°46'04.58" E, 144 m, 2023.7.23

#### 考察

2013年調査から10年経過して、4村での生息が新たに確認され、本種は概ね県北西部から南へとその分布を拡げてきたと考えられる。一方、生息地点は点在をしてい

ることから、本種の分散について既に指摘されている（亀田他 2010）ように、自力による分布拡大というよりは、自動車や鉄道などへの便乗によって分散してきた可能性が考えられる。

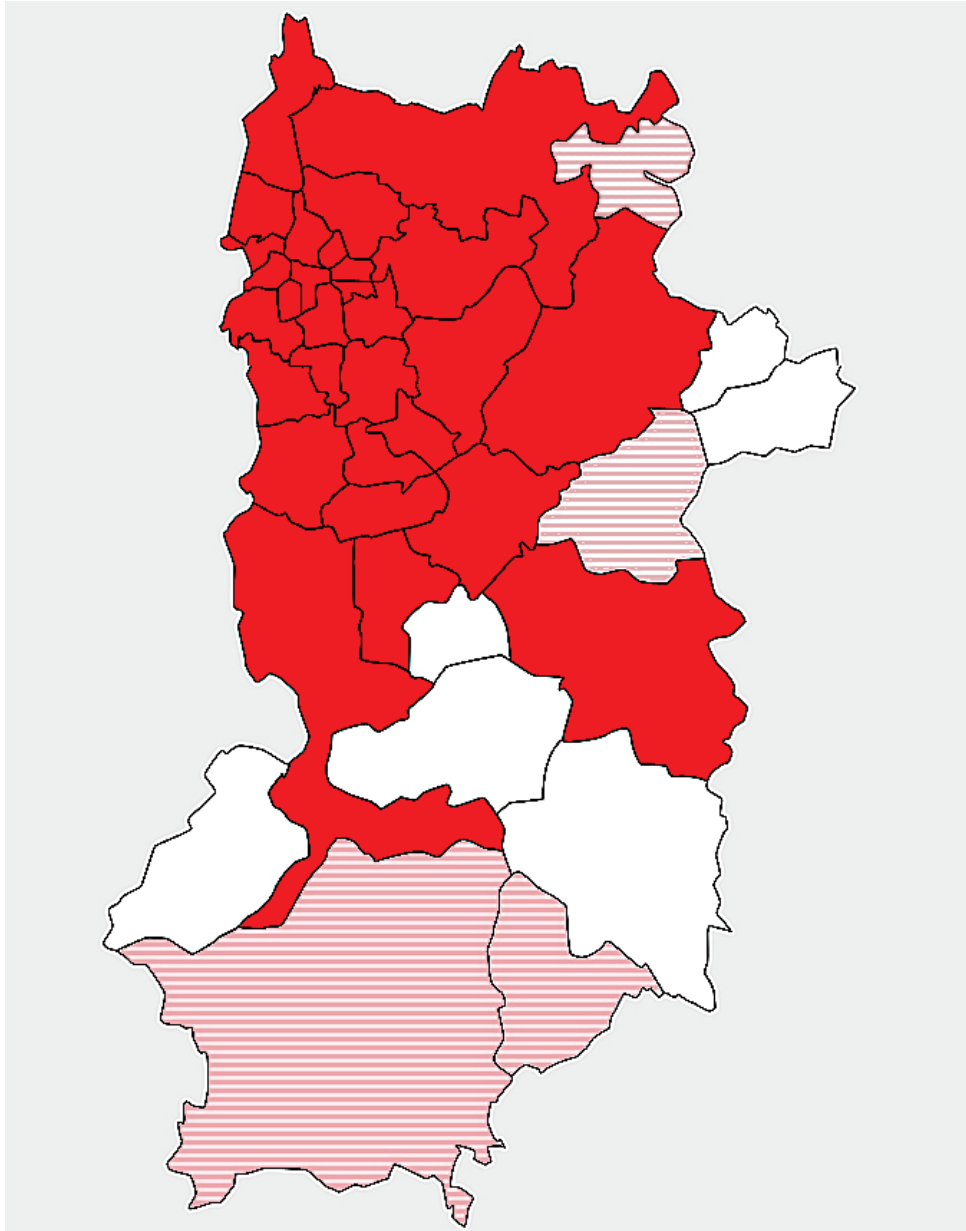


図 1. 奈良県におけるクロガケジグモの調査結果.  
■=いる 2013 年, ■=いる 2023 年, □=いない.

Fig. 1. Distribution of *Badumuna insignis* in Nara Prefecture.  
■=Inhabited areas for the species in 2013, ■=Inhabited areas for the species in 2023,  
□=Absent.

### 引用文献

- 亀田篤史・有馬千弘・谷本純子・花房佑樹・鶴崎展巨 2010. 鳥取県におけるクロガケジグモの分布範囲. 山陰自然史研究, 5: 55–60.
- 関根幹夫 2014. 奈良県のクロガケジグモの分布: 発見から 36 年経過して. くものいと, 47: 29–33.
- 新海明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生 2022. CD 日本のクモ Ver. 2022. CD, 著者自刊.
- 八木沼健夫 1974. 日本の真正蜘蛛類相 (IV). 追手門学院大学文学部紀要, 8: 169–173.
- 八木沼健夫・平嶋義宏・大熊千代子 1990. オーストラリアのクロガケジグモ大阪に定着. Pp. 183–184. In: クモの学名と和名. 九州大学出版会 (福岡).